

2019年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書 提出用

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020年 5月 27日

ふりがな	ジエデ イス (ニホンダウンショウキョウカイ) オカヤマシブ			
団体名	JDS (日本ダウン症協会) 岡山支部			
代表者名	役職名	支部長	氏名	上地玲子
連絡先	住所	〒709-0854 岡山県岡山市東区瀬戸町江尻1200-5		
	TEL	090-1683-5370		
	E-mail	jdsokayama@gmail.com		
	URL	http://www.jds-okayama.org/author/okayama/		
設立年 (西暦)	1997年			
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主にダウン症者等及びその家族で構成する、県内の地域の会との交流・連携 2. ダウン症者等に関する社会的な啓発活動 3. ダウン症者等及びその関係者への相談活動 4. ダウン症者等の各種問題について、行政・関係諸機関への働き掛けに関する活動 5. その他、会の目的を達成するために必要な活動 			
活動の対象者	JDS (日本ダウン症協会) 岡山支部 会員および、岡山県内在住のダウン症児			
助成活動名	災害時におけるコミュニケーションツールの確立と対処法の学習			
助成額	700,000円			
実施内容	目的	障がいのある本人が社会の中で孤独になりがちな現在、余暇活動、社会参加への必要性がうかがえる。そのためには、他者とのコミュニケーションは不可欠であり、スムーズな他者との関係作りが必要である。ICT機器の利用方法を学童期から学ぶことで、他者とのやり取りへの安心感を育て、自身の可能性を広げる。		
	内容	ICT活用によるダウン症児のコミュニケーション能力の向上 ・実施期間 2019年4月～ 2020年3月 ・5月11日(土) 岡山市立御南西公民館 10名 ・8月25日(土) ゆうあいセンター 6名 ・1月12日(土) ゆうあいセンター 10名 ・2月25日(土) ゆうあいセンター 14名 ・3月14日(土) WEB指導		
	成果	5月は、言葉の認識についての学習を保護者対象として行った。 その後、アプリケーションの使用方法を学習すると同時に、ビジョントレーニング（眼球を動かす筋肉、眼筋を鍛えることで両目を使って目標物を正確に捉えたり、目からの情報を脳で処理して体を動かす運動機能を向上させる効果を促すトレーニング）を中心とした本人のスキルアップを今期は行った。 自宅での使用方法と共に、集団の中で楽しみながらICT機器と触れ合うことができた。		
今後の課題と対応策	初年度ということもあり、すべてにおいて手探りで行っていたため、事業を思うように進めることができなかった。定期的な実施ができるようになったにもかかわらず、新型コロナウイルスの流行により集団での活動が中止となってしまった。集団で同じことを取り組む達成感を感じていただけに大変に残念であった。 今後は、人との距離を考えていく時代に向けて、WEBを活用して会員が取り組みやすい仕組み、気持ちを伝えるためにどのようなアプリケーションが有効であるかを考えていく。			

参加者・利用者の感想など

・子どもだけでなく、大人も楽しんで参加することができました。
・眼球を動かすビジョントレーニングをすることで、文章を読むときに正確に読めるようになったり、書くときも書き順を意識して正しく書けるようになった。



写真の提出

